

入院診療計画書② 経尿道的腎尿管結石碎石術 (TUL)

ID: 患者ID _____

新規作成日: 新規作成日 _____

氏名: 氏名 _____

日付	12月31日	1月1日		1月2日	1月3日
経過	1日前	手術前	手術後	1日後	2日後
目標	転倒転落なく安全に過ごすことができる 手術について理解できる 入院生活について理解できる	安全に手術が受けられる	手術後の経過に問題がない	尿管を抜き、自尿がある 日常生活の注意点について理解できる	日常生活の注意点について理解できる
注射		9時30分以降の手術の場合は病棟で点滴を開始します	手術室から戻ってから6時間後に抗菌薬投与します 持続で輸液を実施します	500mlの輸液2本を前日の輸液に続けて行います 午前と夕方に抗菌薬の点滴を行います	
投薬		薬の種類により朝少量の水で内服していただくことがあります		内服薬の再開は看護師がお知らせします	
検査			手術でとれた結石を検査に出します	朝、採血があります	
放射線			術中透視を行います	午後に腹部X線撮影を行います	
処置	手術前に装着する弾性ストッキングのサイズを測定し準備します	血栓予防ため弾性ストッキングを履きます	翌日の朝まで心電図モニターを装着します	歩行状況確認後、弾性ストッキングを脱ぎます	
	左右どちらかの手術の場合は腕に印をつけます		必要時、酸素吸入を開始します	経過に問題が無ければ心電図モニターを外します 酸素吸入している場合は、朝の状態を終了します	
食事	食事は夕食まで、水分は0時まで、それ以降は飲食できません 状況により飲水時間が延びる場合があります	飲んだり食べたりする事が出来ません	手術後、うがいはできますが、飲水、食事はできません	朝食（普通食）から開始となります 水分制限がない場合は、水分は1L以上飲水しましょう	
清潔	16時まで入浴できます	朝、洗面をお願いします 入れ歯は外し、水を入れたケースに入れておきましょう	うがい等介助します	午前中に身体を拭き替えます	シャワー浴可能です
排泄			手術室で尿管を入れませ	午前中に、尿管を抜きます 排尿状況を確認します 尿量を確認します 尿量測定方法は看護師がお伝えします	
活動	安静度	制限はありません	ベット上安静です 起き上がることはできませんが寝返りをうつことはできます 術後6時間を目安に起き上がる事が出来ますが、その際は看護師がお伝えします	看護師と一緒に病棟1周歩行し、歩行状況確認します 歩行時ふらつきある場合は引き続き付き添い歩行します	制限はありません
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません			
看護ケア	体温、血圧、脈拍等を入院時、寝る前に測定します 入院時に身長と体重を測定します 腕にネームバンドをつけます 手術室に持参する物品を確認します 入院生活で気をつけていただきたい事や入院中の流れについて説明をします	体温、血圧、脈拍等は6時、手術室に行く前に測ります 手術に行く前にトイレを済ませてください	帰室後、30分後、1時間後、2時間後、18時頃と寝る前に検温します 術後の状況により測定回数が変わる事があります	体温、血圧、脈拍等を起床後、午前、午後、寝る前に測定します 口腔内の確認をするため歯科にかかる場合があります	体温等を起床後に測定します 忘れ物ないか確認してください ネームバンドカットしたら退院です
指導	医師より病状と手術の説明があります (外来で説明されている場合もあります) 手術同意書を看護師に渡してください 麻酔科医の診察があり、手術時に行う麻酔についての説明があります 麻酔同意書を看護師に渡して下さい 手術室看護師の訪問があります 薬剤師が普段内服している薬の確認と入院中に使用する薬の説明をします 歯科にかかる場合があります	眼鏡、貴金属類は外してください 貴重品は家族に預けましょう 家族の方は、手術中病棟で待機して頂きます	医師が手術経過を説明し採取したものをお見せします 痛みや気分が悪いとき、辛い事などがありましたら看護師に知らせてください	尿管を抜いた後、初めての尿は尿量測定用の紙コップに取り、看護師に見せてください 手術により一時的に尿が出にくくなることや、血尿、血のかたまりが出る場合があります 尿が出にくい時、出ないとき、痛みが強い時、血尿が濃い時などは知らせてください 退院時の状態に合わせてお薬を処方する場合があります 看護師より退院後の生活について説明をします 次回外来受診日、時間、会計を含めた退院方法の説明をします 検査結果などについては医師より次回外来で説明があります	9時過ぎに請求書が届きます 迎いは9時頃をお願いします 会計後にスケジュール表や診察券などを渡し、退院になります 9時30分頃の予定です